

第1回 まちのきこり人育成講座 活動報告

作成： 平成 25 年 4 月 17 日(水)

1. 活動場所 亀山市関町板屋 鈴鹿森林組合会議室／ 向井 F 1
2. 活動日 平成 25 年 4 月 6 日(土) 8:30~13:30 曇りのち雨
3. 参加者 受講者： 14 名(1 名欠席)
会員担当：瀧口邦、館
会員参加者：松永、大石、高崎、上林、蒲田(東芝の森)
瀧口邦、瀧口朱、南条、市川、林、北村、清水

4. 活動内容

受講者 15 名中 14 名出席、会員 11 名で迎えました。受講者は 27 歳から 70 歳までと幅広く、70 代 1 名、60 代 7 名、50 代 1 名、40 代 3 名、30 代 1 名、20 代 2 名となっています。

60 代以上 8 名 ⇔ 50 代以下 7 名 と若い世代の参加が例年になく高くなりました。

進行予定では、午前は座学ののち菰野富士の頂上で昼食、午後に人工林間伐の見学、という予定でした。生憎の雨予報だったので、簡単に森林の風の紹介をしたのち雨が降る前に人工林間伐の見学、その後は昼食をはさんでずっと座学となりました。

座学を耐えるためには、アイスブレイク(緊張緩和)が必要です。4 つのテーブルごとに自己紹介をかねて「木の有効な利用法」を考えていただき、その後全体に向けて発表していただきました。今回はどんな参加者が一緒に学んでいくのか?知り合うとともに、笑顔や談笑が増えました。

座学は、瀧口氏が KP 法を全面的に採用して行いました。(裏紙に書かれ、かなり念入りに用意された大量のキーワードの連発で、エコで居眠りできないプレゼンテーションとなりました。テキスト『基礎編まちのきこり人』『実践!まちのきこり人』より順次説明、森林に入る時の安全な服装について、森林にはすべて所有者があるけれど、事前に自治体に相談したり申請をすることが大事、などの内容でした。

ちょっとした春の嵐のなか「来週もまた!」と帰途につきました。

以上

